



学校だより

11月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 今野 裕子

令和5年10月31日

〒232-0061 横浜市南区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

読書の秋

副校長 高田 麻里

秋が深まり、朝夕が肌寒く感じられるようになりました。さて、秋といえば「読書の秋」。本を読むのはとてもよい季節となりました。横浜市では、平成22年の「国民読書年」を契機として、11月に「はまっ子読書の日」を制定し、全市立学校で児童生徒の読書啓発事業を行っています。本校でも図書委員会が読み聞かせを準備しています。また、校庭改修工事に合わせて、図書館の前にある教室を利用して、第二図書館を開いたしました。第二図書館は本を平置きにして、子どもたちが気になった本をすぐに手に取って楽しめるようにしています。読書活動は、子どもたちが人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。読書で得られる効果として、次のことがあげられます。

○知識が広がる

本を読めば新しいことを知ることができます。結果的には、読めば読むほど知識が広がることは想像に難くありません。また、単に知識を広げるだけでなく、文字を読むという行為は、自分から能動的、自発的に行っている行為なので、積極性や自主性を育みます。

○文章に対する理解力・表現力の向上

人と人のかかわりの中で自分の考えや思いを伝えることは大変重要です。本を読むことで語彙力がつき、文章を理解する力が養われます。文章に対する理解力の向上、言葉の言い回しや、どの場面での表現を使うかなど、時・場所・目的にふさわしい表現力を身に付けるには読書はとても効果的です。

○リフレッシュ効果

スポーツや音楽鑑賞でストレスを解消することはよくあると思いますが、読書によって自分の世界に没頭すると、大人でもイライラや不安が収まりリフレッシュできます。子どもも同じです。スポーツや音楽鑑賞以上に読書にはリフレッシュ効果があるそうです。

○心の成長

読書をしたことのある人ならだれでも経験があると思いますが、本を読みながらどつぷりと本の世界に引き込まれてしまうことがあります。本を読むと、自分が実際に体験していないことを体験できます。登場人物とともに喜怒哀楽を感じることで、よりよい行動や生き方を知ることができます。感情が豊かになり、そのコントロールの方法も知らず知らずのうちに学んでいます。

あまり読書が好きではないお子さんには、読み聞かせをしてあげてください。子どもは自分で読む必要がないため、楽しみながら話に集中すると思います。また、子どもたちに読書の魅力を伝えるために、ご家族が本に親しんでいる姿を見せることはとても有効です。例えば、保護者の方が小学生のときに読んでいた本を紹介することや、同じ本と一緒に読んで感想を伝え合うことも本に親しむきっかけになるでしょう。家族そろって読書をする時間を作るのも良いと思います。「読書の秋」は子どもたちだけのものではありません。忙しい毎日の中で、ちょっとした時間をつくり、みなさんと「読書の秋」を楽しんでみませんか。

「読書の秋」に子ども達が良い本と出会うきっかけがあることを期待しています。今月も、よろしくお願いいたします。

